

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域福祉サービスセンター ソレイユ		
○保護者評価実施期間	R7年 5月 13日		～ 令和7年 7月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 9日		～ 令和7年 12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	身体に重度の障害をお持ちの児童を主として受け入れており、入浴等のご家庭の困り事に対応できる環境がある。また、支援内容によっては、支援者の配置基準以上のスタッフを配置し、安全の確保や支援の充実を図り、様々な活動に参加出来るよう配慮している。	ご家族からのニーズや相談に、対応できる範囲で調整し対応している。ご利用児の障害程度や支援内容によって、他職種と連携を図り通常より多めの人数を配置し、支援を受け様々な体験してもらえるようにしている。	他職種との連携を更に密にし、情報共有、連携を図り、各職員が支援意図、方法等共通認識で取り組めるようにする。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の情報発信が少なく、施設の取り組みを知ってもらう機会が少ない。	・広報紙を中心に放デイの様子を情報発信しているが、誰もが見れるものではない。 ・ホームページもあるが活用できていない。 ・支援やケアの介助量が多く写真を撮る余裕がない。	・毎日ではなくても、写真を残したい活動の際には、予め職員に協力依頼をする。 ・どの職員でもホームページの更新が出来るよう、作業過程を周知する。 ・施設で出来るSNS(HP,インスタ)の活用。
2			
3			